

今月の言葉：

真の親孝行とは



スイートピー
喜び

親孝行とは「何を贈るか」というように形だけを整えておけばよいものではありません。肝心なのは親に安心してもらうことです。

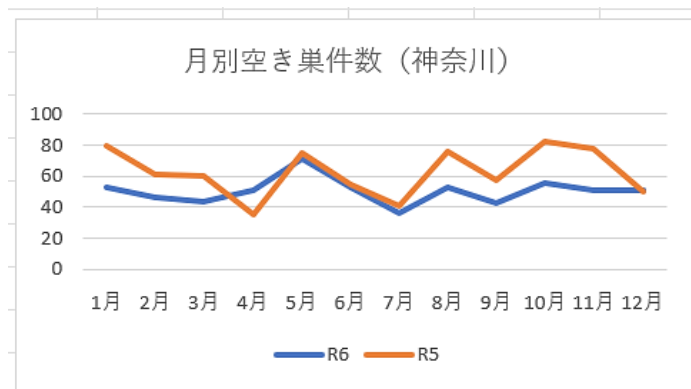
そのためには親の思いを大切にする必要があります。

親のこれまでの苦労に感謝せず、心から尊敬していなければ、形の上では親孝行をしているようでも親は寂しい思いをするのではないのでしょうか。

親の本当の思いは、親にしか分かりません。その意味では、親が安心するように心を尽くしながらも、まだまだ不十分であると反省するような人こそ、真に親孝行な人といえるのかもしれない。

事件ファイル No. 205

GW 期間は空き巣が多いのか



GW 期間中は空き巣被害が多くなると TV 等で注意喚起を行っています。

実際の神奈川県を月別空き巣件数を調べてみたところ、R5 年の平均被害件数が 63 件、R6 年の平均は 51 件でした。

5 月の被害件数は、R5 年が 75 件、R6 年が 71 件と確かに通常月より多く発生していることがわかります。

留守宅が多くなり、気候も良いので泥棒も活動するのを好む季節のようです。

* データは空き巣のみで、忍込み・居空きは含まれません

空き巣対策に最も有効なのはセコムや ALSOK のホームセキュリティを導入されることですが、以下のような基本的なことも日ごろから実践しておかれると良いでしょう。

建物開口部

- ① 戸締りの徹底
- ② 内鍵を追加
- ③ 補助錠を設置
- ④ 防犯フィルムを貼付
- ⑤ 破壊検知アラームを設置
- ⑥ 室内用 WEB カメラを設置

敷地内

- ⑦ センサーライトの設置
- ⑧ 防犯カメラの設置
- ⑨ 植栽を整え見通しを良くする
- ⑩ 脚立などは目に見えない場所へ
- ⑪ 新聞や郵便の配送物の一時停止依頼

外出先等

- ⑫ 外出がわかるタイムリーな SNS 投稿✕

今月の良い話

積徳のすすめ



仏教では、ご縁ということをよく言います。仏教に限らず、どの世界でもご縁がなければ何も始まりません。

大学受験に躓いた自分自身を振り返ってみても、決して東大に入れるような賢い頭も持っておらず、裕福な家庭というわけでもなく、痛感したのは自分自身の徳のなさでした。そして徳を積むことを一生の目標となし、22歳で出家し、24歳で正式に僧侶となり、29歳から20年間、比叡山に籠って修行をしました。

その後、49歳で最も厳しい修行の一つといわれる十二年籠山行満行を果たしました。

私は修行を通じて徳を積むことを学んできましたが、徳を積むには、何か大きなことをやってやろうといった思いを持つのではなく、毎日毎日の小さな積み重ね、一日一日を全力で生きていくこと。

それを十年、二十年と続けることこそが大事だと考えてきました。

比叡山浄土院で十二年籠山行されているお坊さんを侍真僧といいます。侍真の資格を得るには、まず好相行という行を満行しなければなりません。

「好相」とは仏様の姿のことで、心が清まれば目の前に仏様が立つ、仏様が観えるのです。五体投地をして、三千の仏様の名前を唱えながら立ち上がり、合掌してまた五体投地をする。これを仏様が観えるまで、不眠不臥で一日三千回ひたすら繰り返すのです。

好相行の最中では、もう二度と立ち上がれないというくらい、心身ともに疲れ果てる局面が訪れます。

その時に、一体あと何回やれば仏様が立つんだろう……と、遙か先を見ては決して続けることができません。

そうではなく、よし、これで最後だと思って全力で一回だけやろうと気持ちを奮い立たせる。

その一回ができると、ああ、もう一回くらいできそうだな、と思えてきて、その一回、一回を渾身の力で積み重ねていく。

そうやって目の前のことに全力で打ち込み、いまこの一瞬に全てを懸けた時、初めて自分の中にある壁を越えることができるのです。

.....
宮本祖豊（みやもとそほう）

昭和35年北海道生まれ。59年出家得度。平成9年好相行満行。

21年比叡山で最も厳しい修行の一つである十二年籠山行満行（戦後6人目）を果たす。

比叡山延暦寺居士林所長、延暦寺大霊園園長などを歴任し、現在は比叡山観明院住職、叡山文庫文庫長。



今月の良い話 与えるという心の余格

私は徹底的に人間尊重、つまり社員を大事にする経営をやってきました。企業の目的は、社員を幸せにするということです。利益も成長もこの目的を達成するための手段にすぎないと考えています。だが、いまはこの手段と目的を履き違えて、利益や成長が目的という会社がいっぱいあるでしょう。私は「社員を幸せにする」という企業の目的をはっきりと打ち出して経営を行ってきました。

社員にちょっとでも多く給料を払うにはどうすればいいか。ちょっとでも職場環境を良くするにはどうすればいいか。ちょっとでも楽しみを増やしてやるにはどうしたらいいかと、経営者は何を考えるにも、先優後楽であるべきだと思います。例えば、24、5年前から全社員で海外旅行を1年置きにやっています。現在、社員は250人ですが、すでに11回になり、今年はハワイに行く予定です。それからこの本本社や工場もリゾート風でシャレているでしょう。これも良い職場環境をつくるために、社員みんなの提案によってつくったものです。いくら会社が儲かっても、経営者の私腹を肥やすためであったり、社員が犠牲になるようだったら、だれも本気で働きやしませんよ。やはり利益配分として社員にちゃんと還元していかないとはいけません。

運というものは、ある人のところに集中的に行くものではなくて、だれにも平等に来るものだと思います。ただ、それをつかむかどうかは、その人の何かなんだよね。私が思うに、極的な生き方をする人が運をつかむ。信州言葉で「ずくのある生き方」といことになるかな。進んで汚れ役だとか、苦勞だとかをかって出る人、急がば回れという生きざまを持つ人に運がついてくる。私自身がそういう生きざまをしてきました。商売というものは、いかに目先の逆、いかに遠くを計るか、それが勝負なんです。大概の人は目先の欲をかいて取ろう取ろうとする。だからうまくいかないのです。やはり、「与える」という心の余格がないといけません。

そのことについて二宮尊徳は次のような言葉を残しています。

遠きをはかる者は富み
近くをはかる若は貧す
それ遠きをはかる者は百年のために杉苗を植う。
まして春まきて秋実る物においておや。
故に富有なり。
近くをはかる者は春植えて
秋実る物をも尚遠しとして植えず
唯眼前の利に迷うてまかすして取り
植えずして刈り取る事のみ眼につく。
故に貧窮す。

この言葉は、私の最も好きな言葉です。それにしても目先の欲ばかりをかいて、必死に儲けよう儲けようという人がなんと多いことか。いまほど本当の意味での人生観とか、経営哲学というものが求められている時代はないのではないのでしょうか。

プロ太の小話集 No. 205

親切な自販機

俺、無職。

今朝、ハローワークの前で缶コーヒー購入。すると自販機から・・・

「おはようございます。お仕事頑張ってください！」



ALSOK 勤務時代、幹部になると比叡山の居士林に2泊3日の研修に行かされます。

朝は4時半に起床、清掃からはじまり座禅や写経、法話等一日があっという間だったのを覚えています。

ほかに山内巡拝といって、修行僧が走り回られる一部の険しいルートを歩きました。

その途中の小さなお蔵の中に、十二年籠山行満行を実践されている僧侶が中にいることを聞きました。

年数を当てはめると、その時のあのお蔵の中で修行されていたのは、宮本祖豊僧侶であったことは間違いありません。

居士林は延暦寺のさらに上山に位置し、動物や鳥、虫が生息しない場所と伺いました。

居士林の僧侶たちは、所作がすごく奇麗で、眼がとても澄んでいたのを覚えています。

一度修行に入山すると数年間は下山できず、虫歯の治療もできないため、歯を抜いて出家される僧侶もいたと記憶しています。

宮本祖豊僧侶の「目の前のことに全力で打ち込み、いまこの一瞬に全てを懸けた時、初めて自分の中にある壁を越えることができる」。

とても深みがあり、実践された方の言葉は心に響き頷かされます。

団体
企業
応援



加盟団体

RID2770 川口モーニングロータリークラブ

NPO法人 さいたま起業家協議会

公益社団法人 千葉東法人会

公益財団法人 モラロジー道德教育財団

<https://kawaguchi-morning.jp/>

<https://saitama-kk.org/>

<https://www.chibahojin.jp/>

<https://www.moralogy.jp>

事業所

商号 株式会社ケイプロ

屋号 都市防犯プランニング社

本社 埼玉県蕨市中央1-7-1シティタワー蕨

千葉支店 千葉県千葉市中央区新町1-20江澤ビル

<https://k-puro.co.jp/>

mail info@k-puro.co.jp

TEL 048-446-9445

TEL 043-243-6110

業務内容

機械警備 弊社のセキュリティプランにSECOM・ALSOK・CSPのインフラを使用
防犯カメラ 周辺環境・建物構造・人的要因を分析し、用途に沿ったカメラ選別と設置
メンテナンス 消防設備点検・消防設備工事の消防関連事業及びAED斡旋の管理業務